

令和4年度埼玉県・オハイオ州グローバルスピーカープログラム前期
中間レポート（1）

小澤 怜

①授業開始まで

海外の方と交流や、自分の英語力を向上させたい、また埼玉親善大使として活動し、埼玉の魅力を発信していきたいとの思いから OSGS プログラムに参加させて頂きました。参加決定の連絡を頂き、フィンドレー大学の川村先生のご指導の下授業の登録をしました。慣れないことが多く、先生や他のメンバーの力を借りしながらなんとか完了させることが出来ました。第1回授業前にメンバーとの顔合わせがあり、安心して授業に臨むことが出来ました。

②3回の授業を終えて

これまで3回の授業を受けましたがやはり授業の開始時はとても緊張してしまいます。グレッグ先生や他のメンバーが話しているのを聴きながら少しずつ慣れていくのが現状です。そのため、授業開始時刻より少し早めに Zoom に入室し先生とお話をしたり、他のメンバーが話しているのを聴いて早く授業に慣れるように心がけています。

授業中グレッグ先生は分かりやすく話してくれます。また、先生の説明を聴くだけでなく私達メンバーも発言を求められる場面があります。言語力に不安がよぎりますが発言をした後は達成感や嬉しさがこみ上げます。授業に関わっていかうとすること、常に能動的な姿勢であることがとても大切だと感じます。そして私の話にうんうんと耳を傾けてくれる先生やメンバーの存在がとてもありがたいです。発言するだけでなく他のメンバーの意見や英語での表現を聴きながら、勉強になることも多いです。そんな言葉や表現はノートに書き溜めて授業終了後に見返すようにしています。そのこと自体はとても小さな積み重ねですが、その積み重ねのきっかけをくれる、大切な時間になっています。

③ペアとの交流

海外の同年代の方とお話しするのは初めてでしたので最初はドキドキしましたが、1週間に1度のミーティングや LINE でのやり取りを通して楽しく交流することが出来ています。グレッグ先生の授業で学んだコミュニケーションの取り方の実践、アメリカと日本の違いについて話をしています。お互いの家族や大学での専攻、将来の夢について話をする機会も多く、とても勉強になります。これからも授業内で出た課題について議論を重ねることが多くなると思いますので、とても楽しみです。

④埼玉親善大使として

埼玉親善大使として埼玉の良さを多くの皆様に知って頂くために活動をより本格化させ

ていきたいと考えています。昔から今に伝わってきた伝統あるものが埼玉には沢山ありますし、私自身それを体験していけたらと考えています。他のメンバーとも意見を交換しながら活動を進めていきたいです。



海外の学生との交流の様子